

令和4年度 体力向上における各校の成果(中学校)

坂井市

教育委員会

No	学校名		成 果
1	三国	中学校	<p>年間を通して、授業の初めに持久力や巧緻性を高めるアップを継続したことで、少しずつ生徒の体力が向上してきたため、来年度の体力テストにその効果が出ることを期待したい。</p> <p>昼休みに体育館でバスケットボールやバレーボールをする生徒が増え、進んで体を動かそうとする生徒が増えてきた。</p> <p>また、コロナ前とほとんど変わらない単元計画、活動内容を行うことができた。今後も生徒が思いっきり体を動かすことができる取り組みを行っていきたい。</p>
2	丸岡	中学校	<p>単元ごとに補強運動に取り組むことで、体力向上を図った。体力テストの合計平均点では、2年男子が2.1点、3年女子が1.4点、昨年度の平均よりも上昇した。また、長座体前屈、上体起こし、50m走でも昨年度より記録の上昇が見られたほか、反復横跳びと立ち幅跳びでは、女子が全学年で昨年度の県の平均記録を上回る結果となった。</p> <p>グループ学習を積極的に取り入れたことで、ダンスや器械運動の授業ではお互いの動きに対してアドバイスをする姿が多く見られた。</p>
3	丸岡南	中学校	<p>授業では、各単元においてすべての生徒がすべての役割を経験することで、生徒が等しく学習に参加できる機会を保障することができた。</p> <p>球技や器械運動の授業では、タブレットを積極的に活用した。技の出来映えや動き方を動画で撮影し、生徒同士が確認し合うことで技能の習得につながった。さらに各単元の振り返りでは、Googleフォームでアンケートを作成し、URLをSkyMenuに貼り付けて回答させることで、生徒の意見を自由に引き出せるようになった。</p> <p>スポーツテストでは、1学年において3種目で全国及び県の記録を上回るなど著しい向上が見られた。上記の取り組みから、学期末に実施した学校評価生徒用アンケートでは、97%の生徒が体育授業や部活動の場面で「一生懸命に取り組むことができた」と回答があった。</p>
4	春江	中学校	<p>体育の授業の中にトレーニングの時間を設けたことで、体力テストの持久走ではほとんどの学年が全国平均を超えることができた。</p> <p>トップアスリート派遣事業では、アンケート結果より3年生の生徒全員が短距離走の走り方のコツをつかみ、自分の走りに生かそうとしていた。</p>
5	坂井	中学校	<p>学習カードやICT機器を活用することで、課題に主体的に取り組む姿が見られ、振り返り活動に意欲的に取り組む姿が見られた。</p> <p>準備運動や授業の導入の工夫を継続したことにより、前年度より多くの運動種目で体力の平均値を上回る結果になった。コロナ禍による体力の低下が少しずつ戻ってきていると考えている。</p> <p>体育祭では、体育委員が中心となって競技種目を考え、企画・運営することができた。球技大会でも生徒が主体となって運営できるよう取り組んでいる。</p>